

子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

J P 子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2023年8月号)

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
https://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



台風6号、7号の被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

まだまだ異常な酷暑が続きます。熱中症にも十分にお気をつけください。

子森通信今月号では、今年度のこれまでの活動をふり振り返り

これからの活動に備えたいと思います。

写真は、広島県「清水谷保育園」の園児さんです。(下記レポートご参照)

(目次)

1. J P 子どもの森づくり運動 2023年度上半期のふり振り返り
2. 参加園活動レポート
3. リレーエッセイ (2023年8月号)
4. 子森ネットからのお知らせ

日本郵政グループからのお知らせ

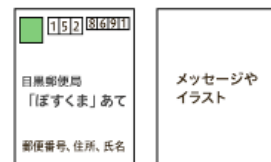
日本郵政グループは「J P 子どもの森づくり運動」の支援のほか、子ども達に向けた様々な取り組みを行っています。

【特別協賛】

 日本郵政グループ



お手紙をくれたみんなに
ぽすくまからお返事が届くよ!



ぽすくまの動画はこちら



YouTube
ぽすくま【日本郵便】
https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX_NqUUZ9A

ぽすくまと仲間たち

© JAPAN POST Co., Ltd.

ぽすくまと仲間たちは日本郵便のキャラクターです。ぽすくまは、くまのぬいぐるみの郵便屋さんです。仲間たちもみんな手紙が大好きです。

あて先はこちら

〒152-8691
目黒郵便局 「ぽすくま」あて

※ぽすくまへのあて先を記入の際、保護者の方のサポートをお願いします。返信ご希望の場合は、手紙に住所(建物名・部屋番号まで)・氏名を忘れず記載ください。

1. J P子どもの森づくり運動 2023年度上半期のふり返り

J P子どもの森づくり運動の2023年度の活動も、残り一月でその上半期を終えようとしています。おかげ様で、今年度上半期も、とても充実した活動となり、多くの実績を残させていただきました。少し早いですが、皆さんと共に、上半期の主な活動をふり返り、下期の活動のステップとして確認し合いたいと思います。活動の詳細は、ホームページをご覧ください。

「東北復興グリーンウェイ」植樹活動

●今年も、全国から届いた東北のどんぐりの苗木が、岩手県大槌町に植えられました。大槌町の植樹会には、「つつみこども園」と「吉里吉里保育園」の子どもたちと保護者、及び職員、さらに様々なサポーターが参加して、約100本の苗木が植えられました。

●同じく宮古市では、「あかまえこども園」と「山田町第一保育所」「とよまねこども園」「織笠保育園」の子どもたちが参加して、これまでに植えたどんぐりの苗木を見守る活動が行われました。それぞれの活動に、「どんぐり〜ず」がお応援にかけつけてくれました。



大槌町植樹会

宮古市
苗木を見守る会

【保育者サポート活動】

1. 自然・環境体験活動「どんぐりSDGs劇団」全国キャラバン

幼児期の子どもたちに、森の大切さやSDGsの大切な心を体感的に感じてもらうことを目的に、お芝居と自然・環境体験講座をセットにした活動を全国キャラバンしています。



埼玉県「青空ウィンクル保育園」にて

2. 「保育防災認定講座」(第3期講座)

2023年度も、「本当に子どもたちの命を救う」ために、通常の防災の仕組みや方法が通用しない保育施設に特化した防災のスキルと高い防災マインドを持つ保育防災リーダーの養成を目指す「保育防災アクションマイスター認定講座」に取り組んでいます。2023年度3期生には、全国で6園、11名の保育者が参加しています。



保育防災冊子

3. 「園庭緑化運動」(第2期講座)

園庭を単なる運動の場ではなく、多様な自然と環境の体験フィールドとして緑化・自然化することを目的に、参加園に対して様々なサポートを提供しようという活動です。全国で3園を対象に、緻密なサポートを提供する「モデル園活動」(第2期)と、活動を広めるために先進的な活動事例を紹介する「オンライン講座」を、年3回開催中です。

【普及・広報活動】

林野庁、国土緑化推進機構等と共に、幼児期の自然保育や森林環境学習の普及を目指す「こどもの森づくりフォーラム」を企画し、第1回フォーラムを2023年7月に埼玉県秩父市で開催しました。基調講演には、東京大学名誉教授 汐見 稔幸氏を迎えて、盛況の中で終えることができました。



汐見先生基調講演

2. 参加園活動レポート

1) 東北復興グリーンウェイブ 苗木を見送る活動：広島県「清水谷保育園」

・日時：2023年5月10日(水) ・会場：自園 ・参加園児：18名 ・日本郵政グループ：温品郵便局

※東北のどんぐりの苗木を見送る会を、年長18名で行いました。郵便局までみんなで出かけて、局長さんに託しました。



どんぐりの行先について、先生に説明してもらいました。



大どんぐりを回しながらの「どんぐりクイズ」(*注)



東北のどんぐりは元気に大きくなりました。



郵便局長さんにどんぐりを手渡しました。

*注：どんぐりについての簡単なクイズに、「♪どんぐりころころ」を歌いながら大どんぐりを手渡していき、とまったところの人が答えました。

2) 地域での植樹活動：岐阜県「認定こども園 浄心こどもの城」

・日時：2023年6月10日(土) ・場所：油坂さくらパーク ・参加者：園児、保護者、卒園児、子森ネット、約60名



園長先生のごあいさつ



お父さん、お母さんと一緒に植えました。



ネイチャーゲーム



記念撮影

*「浄心こどもの城」の植樹活動の様子は、YouTubeチャンネル「子森どんぐりスタジオ」で紹介されています。

[右のQRコードからご覧いただけます。](#)



3. リレーエッセイ（2023年8月号）

岩井 光子さんのリレーエッセイ「SDGs入門」の今月号は、雨に関するSDGsの目標6の「安全な水とトイレを世界中に」です。全国で頻発している豪雨災害を考えると、タイムリーで興味深いエッセイです。是非、お読みください。

【SDGs入門】

雨をためてゆっくり流すメリットとは？ 雨水を活かしたまちづくり

ライター 岩井 光子



今年の夏休みは久々に旅行を計画して遠出した方も多かったのではないのでしょうか？ 気になるのはやっぱりお天気。今年のように暑い夏は海水温が上がり、勢力の大きい台風が発生しやすくなります。近頃の雨は短時間に大量に降る傾向があるので、用心が必要ですよね。

皆さんはグリーンインフラって聞いたことがあるでしょうか？ 川を大規模に改修したり、地下神殿のような放水路を作るグレーインフラとの比較で登場してきた言葉で、日本でも2015年くらいから国土強靱化基本計画など国の戦略にも流域治水などの用語と一緒に登場するようになりました。

グリーンインフラが登場した背景には気候変動の影響による雨量増加や海面上昇で、いくら多額のコストをかけてコンクリートの防壁を作ったとしても、長期的にまちを守ることはできないのではという考えが浸透してきたことがあります。

水を「食い止める」のではなく、「受け入れる」方向性に政策を180度方向転換したアメリカのボストンなどは2018年、水際の土地を平時は市民公園として開放し、非常時は水を貯留する遊水池にする減災対策を試行し始めました。日本にも神奈川の鶴見川流域の多目的遊水池などがありますよね。

このように自然のメカニズムもうまく活用し、景観や多様な生きものの生息環境、地域コミュニティの活性化にも配慮する減災・防災対策を近年ではNbS（自然に根差した解決策＝ネイチャー・ベースド・ソリューション）とも呼びます。単に緑の面積を増やす緑化に留まらず、そこに災害のレジリエンスも加えてより住みやすく、気候変動にも適応したまちづくりが今、注目されているのです。



考えてみれば、日本人は昔から雨水をうまく生活用水に活用していました。火災の初期消火に備えたり、乾いた道に打ち水をしたり、庭の水やりや掃除に使ったり。雨を厄介者として流すばかりでなく、ためて活用することは、特に雨水と汚水が合流する下水道方式が主流の都市部では内水氾濫対策や、海や川の水質を守ることもつながります。

東京の墨田区や武蔵野市、京都、福岡などでは雨水を下水道に直接放水せず、一旦ためて浸透させる植栽空間作り「雨庭（あめにわ）」の試みが進んでいます。気候変動で雨の降り方が変わり、雨は怖い存在でもあるのですが、雨と融和する暮らしにもチャレンジしていきたいものです。

雨に関するSDGsの目標は6の「安全な水とトイレを世界中に」です。目標を掘り下げたターゲットの中に「上水と下水の管理を向上させるため、地域コミュニティの参加を促進する」があります。

※【筆者紹介】岩井 光子氏：ウェブメディア“think”編集。SDGs関連の記事をニューズウィーク日本版、ELLEなど、一般誌で執筆。群馬県高崎市在住。

4. 子森ネットからのお知らせ：子森サブチャンネル更新情報

保育者世代に楽しんでいただける動画を発信している「子森サブチャンネル」を更新しました。今回は「牛乳パックようかん」の作り方です。右のQRコードからご覧いただけます。

